

地域農業のEひと

将来の地域農業を見据えた
礎づくりに力を注ぐ



▲地元のブラジル人学校「サンタナ学園」の生徒に農業技術を伝える梅田さん

Profile

あいしょうちょうなが の
愛荘町長野

うめ だ ま す お
梅田 満壽雄さん(75)

主な生産作物
(農)長野南営農組合

作物名	作付面積
水稻・小麦・大豆	12ha (令和4年度)



▲土づくりから管理作業、機械操作などを地元のブラジル人学校「サンタナ学園」の生徒に教えています。

農事組合法人「長野南営農組合」の一員として農業に励んでいます。当法人では、私を含む現在の実質的な運営者が元気なうちに農地を次代へ引き継ぐために、まずは地域の構成員の方々に農業を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。具体的には、農繁期の出役は、子や孫を含む家族総出で参加してもらうようお願いしています。お父さんだけが出役してほかの家族は知らん顔一。ではなく、家族全員で地域の農業に触れてもらうことが大切です。作業日の昼食には「自産自消」のお米を皆で食べ、子どもから大人まで賑やかに盛り上がります。地域の皆が農業に親しみを持つてもらうことで、地域のつながり強化にも貢献できるのではないかと考えています。

老若男女が地域農業に親しみを

地域農業参画の間口を広げたい

地域農業の後継者を探し育てるためには、参画しやすい環境づくりも重要です。作業の労力を少なく、また個人に掛かる費用の負担を少なくしていくことで、参画へのハードルを下げができるのではないかと思います。今後も引き続き、省力化や低コスト化を進め、若い人が楽しみながら農業に取り組める環境を目指してがんばります。

地元のブラジル人学校 農業技術習得にも協力

これまで近隣住民として、地元のブラジル人学校「サンタナ学園」と関わってきました。コロナ禍で生徒の就労先減少が危ぶまれる中、農業分野への就労が選択肢となり得るよう、令和3年2月からは同

学校園を支援するNPO法人「コレジオ・サンタナ」やJA、農事組合法人「長野南営農組合」が協力し、生徒の農業技術習得を目指した授業に協力しています。言葉の壁もあり、「まだまだこれから」という感じはありますが、継続して取り組むことが重要だと考えています。



▲女性の参画を重要視し、農繁期の構成員出役時は、田植機など農業機械のオペレーションを女性中心に担ってもらいます。

～子どもたちの学びを守りたい!!～

愛荘町のブラジル人学校「サンタナ学園」 存続のための支援プロジェクト

クラウドファンディング 第2弾に挑戦中



愛荘町のブラジル人学校「サンタナ学園」では今年1月、コロナのクラスターが起こり一定期間の休園を余儀なくされました。子どもたちは登校できず、また保護者たちも働きに行くことができない状況が続き、月謝収入減少による学園存続の危機に立たされています。

ぜひ、支援や拡散のご協力をよろしくお願ひいたします。

- 期間: 令和4年7月31日(日)まで
- Webサイト: CAMPFIRE
<https://camp-fire.jp/projects/view/578447>



スマホのカメラや
QRコードリーダーで
読み取ってください!